



Fukuoka Prefectural University

Kendai Magazine

福岡県立大学広報誌

2025
no.37



Contents

学長挨拶	P2
卒業証書・学位記授与式	P3
成績優秀者	P4
入学式	P5
秋興祭	P6
留学生到着式・国際交流	P7

TOPICS	P8~9
サークル紹介	P10~11
教員研究紹介	P12
就職活動奮闘記	P13
卒業生就職・進学実績	P14
新任教員紹介	P15



柴田 洋三郎 学長



情報の世紀といわれる21世紀も四半世紀を過ぎ、ますます混沌の度を深めている。先行き不透明なVUCAの時代にあつて、大学には冷厳な現実が一つある。これから先18年間の18歳人口データである。すでに2024年の出生数が70万人を切った。ピーク時1966年の18歳人口249万人の3割にも満たない。私が子供の頃、日本は人口が増えずで大変だとさんざん言い聞かされ、肩身を狭くして育った。その後我が国は戦後復興期を経て高度経済成長を経験、希望に満ちた「繁栄」を謳歌し、人口問題は話題にも昇らなくなった。バブル期には第二次ベビーブーマー（1992年205万人）入学に備え、大学の新增設や定員増など量的拡大が進んだ。本学発足も1992年である。大学進学率は右肩上がり、いまや60%を超える。しかしバブル崩壊後の失われた20年、第三次ベビーブームは幻に、18歳人口は漸減スパイラル（2025年110万人）に陥った。有為変転、まさか少子化で頭を悩ます時代が来ようとは、隔世の感が深い。

数が不足なら個々の質を高めねばと、文部科学省の中央教育審議会答申、「わが国の「知の総和」向上の未来像〜高等教育システムの再構築〜」（令和7年2月）では、急速な少子化等を踏まえ、「知の総和（数×能力）の向上のために、「質」の向上、「規模」の適正化、「アクセス」の確保、が謳われている。「アクセス確保」など、昨年本誌36巻拙稿の「第4期中期計画開始」で述べた本学の取り組みと齟齬はない。

本学は、DEIAの理念の下、時代の変化に対応した「学生ファースト」の教育とともに、「全世代型キャンパス」を機関目標に掲げる。この「全世代型」理念は、4つの年齢階層に大別されよう。①まず急激な少子化の進む0歳から18歳入学前までの健全な成長・育成の支援である。すでに「赤ちゃん教室」や「不登校ひきこもりサポートセンター」「心理教育相談室」などの取組、さらに最近は近隣高校との単位認定協定なども推進している。

②中核である入学した学生に関しては、後述する。学部修了後の人生百年時代いかに充実した生涯を送るかについて、③前半は社会人大学院生や、在学時の職業教育・キャリア教育延長上にリカレント教育やリスキリング講習・特定行為研修などが、各専門領域において実施されている。④さらに高齢化社会で豊かな人生の充実を目指す地域活動では、シルバーク世代を中心に発足30年を超える「県立大学と共に歩む会」や、昨年設立25年を迎えコロナ禍を乗り越えて再開された「筑豊市民大学」との学内連携も深まり、運営委員による活発な年間活動プログラムにより、本年は4分科会に163名の登録をみている。

さて中核となる②時代の変化に対応した「学生ファースト」の学部教育である。特定の職業に従事するために必要な知識・技能、能力や態度を育てる「専門職業教育」においては、各分野における「即戦力」の育成に留まらない。全学横断型教育の一環として、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育み、キャリア発達を促す「キャリアマネジメントプログラム」を開設している。

しかも卒業時、単に資格免許等を取得し専門職業のスタート地点に立つだけではない。学生の生涯遭遇する変遷に備え、将来の予測不能な課題に対処する能力を育み、世のいかなる変転をも乗り越えるキャリア・ドリフトへの潜在力を身に着ける全世代型教育を目指している。その一つ、多様な背景と世代層の学習者が同一空間に集うDEIAキャンパス環境の下、学生個々人にとって生涯各ステージの世代変遷を実感する交流の場として「援助力養成プログラム」の整備充実などが想定される。

さらに、将来社会の変遷に備えた修学内容としては、これまでのAー等の技能展開を顧みれば自明の如く、現時点で既存学問内容の固定的なコンテンツメニューをいかに万全に準備しても、すぐに陳腐化してしまふ世の変転に対応でき得まい。残された道としては、次々と創出される新コンテンツを将来にわたり不断に学修できる能力を体得する、いわば「学び方を学ぶ・Learn how to learn」、すなわち探求的学修法の修得を目指す教育システムの推進・開発が求められる。



卒業証書・ 学位記授与式

令和7年3月17日(月)、学部卒業生253名、大学院修了生20名、併せて273名の卒業式が行われました。昨年に引き続き、卒業生・修了生が一同に講堂に集まる式典となりました。保護者の皆さまも動画中継ではありますが、本学を訪れお子様の卒業を見守られていました。

柴田洋三郎学長は式辞の中で、『君たちには、本学の教育を通して身に着けた「不易」として、実技やボランティア、インターンシップ、各種の課外活動、などで日々培われた、対人支援力などのキー・コンピテンシーが、tacit knowledge 暗黙知、一生の潜在能力となって備わっています。これからの正解の定まらないVUCAの世にあって、これらの基盤的な能力を不易とし、新たな未踏の世界において、臨機応変、各人の創意工夫により、「已上手と思わば、はや下手になるの兆しと知り」、絶えず最善解の「流行」を追い求めていかれるよう望みます。

早速に明日から、君たちを待ち受けている多難な現実社会と、いままでの学業との間には、大きなギャップがあります。しかし、怯むことはありません。君たちはすでに、コロナパンデミックを経験しました。これからも人生、幾度・修羅場を体験し、何度、失敗・挫折を味わい、克服していくか、その回数と度合が、まさに「人間万事塞翁が馬」、さらなる成長を促してくれます。

人生100年時代、どうか「なりゆきの未来」に翻弄されることなく、皆さん各人それぞれの「なりたい自分」を追い求めて、「不易流行」、常に研鑽し、光輝くことを願っております。』と述べました。

これを受けて、学部卒業生、大学院修了生の代表者が謝辞を述べました。

卒業生たちは、卒業式終了後もキャンパス内で記念撮影をしたり、友達とおしゃべりをしたりと、福岡県立大学で過ごす最後の一日を笑顔で楽しんでいました。



人間社会学部

M・Cさん
公共社会学科

この4年間、様々な人との出会いや幅広い分野の講義を通して、多くのことを学ぶことができました。大学での学びは、私の視野を大きく広げ、新たな人生の目標を見つけるきっかけを与えてくれました。社会に出た後も学びを止めず、常に知識や価値観をアップデートできる人間でありたいです。そして、家族、先生方、友人をはじめ、これまで支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れず、今度は私が誰かの支えとなれるような人間となり、社会に貢献していきたいと思えます。福岡県立大学で過ごした時間は、私にとってかけがえのない宝物です。4年間本当にありがとうございました。

人間社会学部

S・Mさん
社会福祉学科



福岡県立大学での4年間は、多くの出会いに恵まれ、様々な学びを得ることができた充実した時間でした。親身に相談に乗ってくれる先生方や制約がある中で指導して下さった実習指導者の方々のおかげで、社会福祉士の知識や実践はもちろんのこと、様々な価値観や考え方を知ることができました。

また、楽しい時も大変な時もそばにいて、話を聞いてくれた友人達や家族のおかげで、実習や国家試験を乗り越えることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

4年間で得た学びや経験を大切に、これから始まる新しい生活を歩んでいきたいと思えます。本当にありがとうございました。

人間社会学部

M・Kさん
人間形成学科



大学生活はかけがえのない出会いに恵まれ、自己成長をすることができ、充実した日々でした。

卒業研究、実習、学会発表の聴講やボランティア活動などを通して、人の行動や感情から悩みや課題を解決していくことをはじめ、心理学について主体的に深く学ぶことができ、一生の宝物になりました。また、自分を知り、視野が広がりました。

改めて、いつも親身にご指導くださった先生方、切磋琢磨した友人、そして支え続けてくれた家族に、深く感謝致します。

卒業後はこの4年間で培った学びや経験を活かし、挑戦心を忘れずに努力し続けて参ります。本当にありがとうございました。

成績優秀者として表彰された方々です

看護学部

看護学科

Y・Kさん



この4年間の学びを通して、自分の将来へ着実に歩みを進めることができたと思えます。看護学実習では看護の難しさを実感しました。その中で互いに相談し合い、励まし合った仲間は、とても心強い存在でした。保健師課程では、同じ志を持った仲間と学び、将来の目標への気持ちが一層強まりました。

先生方や友人たち、どんなときも一番そばにいてくれた家族の支えがあったからこそ、無事卒業を迎えることができました。どこかでまた、成長した姿で仲間たちと会える日を楽しみに、努力を怠ることなく、邁進してまいります。本当にありがとうございました。

看護学部

看護学科

M・Nさん



福岡県立大学での4年間は、多くの出会いに恵まれ、充実した大学生活を送ることが出来ました。コロナの影響で思うように高校生活が送れなかった私たちですが、大学生活では対面授業のありがたさ、友人と笑い合える喜びを改めて感じました。

実習や国試勉強では沢山悩み、将来への不安で押しつぶされそうな日もありましたが、家族、友人、先生方に支えられ乗り越えることが出来ました。

長いようで、あっという間の4年間でしたが、沢山の思い出でいっぱいです。これからは社会に貢献できる大人になれるよう頑張っていきます。4年間本当にありがとうございました。

看護学部

看護学科

S・Mさん



福岡県立大学での学生生活は、大きく成長できた4年間になりました。

日々の勉強や課題、実習に取り組む中で、何度も壁に衝突してきました。しかし、その度、自分と向き合うことの大切さを教えてくださった先生方や、様々な面で支えてくれた友人や家族のおかげで、壁を乗り越えることができ、自身の成長へ繋がりました。

今後も、このような環境への感謝を忘れず、成長していけるように努力を続けていきます。

これから始まる新しい生活に不安もありますが、大学での経験を糧に頑張りたいと思えます。4年間、関わってくださった方々、支えてくださった方々本当にありがとうございました。




入学式

Entrance ceremony

令和7年4月3日（木）、学部入学生256名、大学院入学生25名及び江口福岡県副知事、笠文教委委員委員長をはじめ来賓7名、本学の役職者並びに公立大法学人の役員9名で、入学式が挙行されました。

柴田洋三郎学長は告辞の中で、「先行き不透明で予測困難な混沌の世の中、少子高齢化の進行とともに、人生百年時代をこれから生きていく君たちが、ここ福岡県立大学で学ぶ目的は何か。」と問いかけ、ここで始まる3つのキーワードでお話しされました。

「1つ目、大学はまずもって学問の場です。本学では、専門分野コンテンツ（content）の学修を目的として、福祉・心理・保育・看護などの学科・コース科目があり、この修得は君たちの国家資格や免許取得など当座に役立つキャリア形成の中核となります。2つ目は、どんな未来社会になっても、君たちが、自らの

手で切り拓いていける competency 基盤的能力を身につけ、これからの先行き不透明な人生百年時代を、自分自身で開拓する力「学び方を学ぶ」ことです。3つ目のC、このキャンパス（campus）は、皆さんが将来の夢や目標にむかって、その実現を目指す人間成長の場でもあります。皆さんそれぞれの人生百年に向けて、「成り行き・お仕着せの未来」でなく、「ご自身の20年後、50年後の「なりたい未来像」をイメージしてください。ぜひこのキャンパスで、生涯の友を作り、先輩や後輩、先生方、さらには地域の方々との暖かな交流により、しなやかな心を持った、たくましい人に育ってください。そして、いつの世になっても人として望まれる、「他人を気遣う豊かな Warm Heart」、「現実適切に対応する冷静な Cool Head」、「世のため、に尽くす力強い Tough Muscle」、この3つの心構えを兼ね備えた人となるよう、努めてください。」

これを受け、学部入学生代表者が「ここ福岡県立大学で学ぶ意義を忘れず、今の社会が抱える課題に自ら積極的に関わり、解決できる人となるため、勉学に励み、様々な知識や経験を積み重ねていくよう努力します。」と宣誓しました。

今年入学された皆さまのご入学を心よりお祝い申し上げます。





秋興祭



第33回秋興祭にご来場いただき、誠にありがとうございました。ご来場いただいた皆様、準備・運営にご協力いただいた関係者の皆様、地域の皆様に、実行委員長として心より感謝申し上げます。

令和6年度のテーマ「燦～輝く笑顔とともに～」には、すべての人にとってこの学祭が燦々と照る太陽のように明るく、笑顔で楽しい時間を過ごせる場となってほしい、そしてこの学祭をきっかけに、皆さんのこれからの歩みが光り輝くものであってほしい、という二つの願いを込めました。当日は二日間ともあいにくの空模様で、雨が降る時間帯もありましたが、それでも多くの方々に足を運んでいただき、笑顔と熱気に満ちた時間を共有することができました。天候に左右されることのない皆様の熱意と温かさに、私たち実行委員も大きな力をいただきました。

この秋興祭が、関わったすべての方にとって、かけがえのない思い出となり、今後の歩みを照らす一筋の光となることを願っております。来年度の秋興祭も、今年以上に多くの笑顔と感動に溢れたものとなるよう、さらに工夫と挑戦を重ねてまいります。引き続き、皆さまの温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

第33回秋興祭実行委員会
 実行委員長 高村 勇雅 さん



交換留学生到着式

協定校の威徳大学校(韓国)から1名と大邱韓医大学校(韓国)から2名、4月に来学した交換留学生の到着式を行いました。

柴田学長から歓迎と励ましの挨拶を受けたあと、3名の留学生は、やや緊張しながらも、集まった方たちを前に明瞭な日本語で自己紹介をし、歓迎の拍手を受けました。

今回の到着式にも、筑豊市民大学と福岡県立大学と共に歩む会の皆様が駆けつけてくださいました。本学のサークルの学生をはじめ、同じ寮で生活する留学生チューターや韓国と中国の協定校への留学を終えて帰国した学生も参加し、新しい留学生にエールを送りました。



留学生支援事業

令和7年4月26日(土)、留学生と本学学生の8名は、大宰府天満宮と九州国立博物館に行きました。今学期に来学した留学生のリクエストを受けて訪れた太宰府天満宮は、連休初日ということもあり、多くの人でにぎわっていました。

韓国語や中国語、英語も飛び交う中で、池で泳ぐ鯉の大きさに驚き、「猿まわし」を熱心に見て、境内もゆっくりと歩きました。

昼食前の短い時間にかまど神社も訪れ、新緑をバックに写真を撮ったり、結婚式を挙げて写真撮影をする一行に留学生が「おめでとうございます」と挨拶をして「ありがとうございます」と笑顔で返されたり、引いたおみくじの意味をたずねる留学生に在学生在が説明したり、と心和むひとときでした。

昼食後、九州国立博物館では特別展「はにわ」と「文化交流展」を観覧しました。古墳群とはにわワールドを見た後に、再び仲見世通りに行きたいという元気一杯の留学生を、在学生在が優しくサポートしていました。好天に恵まれ、楽しいバスハイキングでした！



Topic 01

最後の極め！ 卒業前 看護技術トレーニングを 開催しました！

令和7年2月20日(木)、令和7年3月に卒業する4年生を対象に、吸引、採血・注射技術、薬剤準備、聴診など学生が希望した看護技術トレーニングを実施しました。

4月から看護師として入職・助産師を志して進学する、10名が参加しました。学生は持参した書籍や動画で看護技術を振り返りながら、熱心に技術習得に取り組みました。

参加学生からは、「看護師になったら絶対必要な技術が復習できた」、「働きはじめてからのイメージがしやすかった」、「入職前の不安が緩和された」などの感想が聞かれました。入職後をイメージし、卒業前の自信につながるイベントとなりました。



Topic 02

【公共社会学科教職課程】普通救命講習会を実施しました！

人間社会学部公共社会学科、中学社会・高校公民・情報の教職課程では、リスク・マネジメントを含む学校安全について、児童生徒等や教職員の生命・心身を脅かす事故・災害等に普段から備え、いざというときに的確な対応ができる危機管理の知識や視点を備えた教員養成を目指しています。

令和7年7月2日(水)、田川地区消防本部より講師をお招きして、普通救命講習を実施しました。これは教員養成段階における学校安全の学修の充実を目的としたものです。

講習ではAEDを用いた一次救命措置の方法や心構えについて消防庁応急手当WEB講習(eラーニング)を受講して理解を深めた後に、田川地区消防本部の講師による講義、実際にAEDを用いて応急手当に係る実習を行いました。中高教職課程の2年生から4年生の8割にあたる32名がこれまでに受講しました。



Topic 03

田川市「ごとうじ祭」にて社会実験の効果検証を実施しました！

社会調査実習（公共社会学科）では、令和7年1月18日（土）に開催された「ごとうじ祭」にて、仮設広場「トリアルパーク」の利用状況に関するアンケート調査を実施しました。

この「トリアルパーク」は、田川市の「後藤寺駅前整備基本構想」で検討されている「駅前広場の拡大」「交流広場の設置」について、その必要性や機能を検証するために後藤寺商店街の中に実験的に仮設された広場です。

学生たちは、田川市が実施する利用状況調査の調査員として、広場の利用者に聞き取りによるアンケート調査を行いました。調査日は後藤寺商店街で開かれる「ごとうじ祭」（主催：西田川高校田川探求Ⅱ部 WFR）の開催日だったこともあり、多くの方々に回答していただくことができました。調査を通して、地域住民のみなさまが広場の設置に関してだけでなく、駅前の交通利便性や後藤寺のまち全体をどのようにお考えになっているかについて、たくさんのお話を伺うことができました。今回の調査では、調査手法を実践的に学ぶと同時に、まちづくりのあり方について深く考える良い機会となりました。



Topic 04

松和会様から生活支援物資を寄贈いただきました！

令和7年5月22日（木）、松和会様から本学学生に支援物資をいただきました。今回で9回目の寄贈となります。

今回はお米100kg、インスタントラーメン200食、うどん60食、缶詰77個、パスタ70袋、パスタソース120袋をいただきました。

受け取った学生からは「度々支援いただき大変助かります」「一人暮らしなのでありがたいです」など感謝の声がありました。

学生への心遣いにご支援本当にありがとうございます。本学一同感謝しております。





硬式野球部

福岡県立大学の硬式野球部は選手23名、マネージャー16名で活動しています。九州地区大学野球連盟に加入しており、春と秋にリーグ戦に参加しています。その他にも、インカレや新人戦など積極的に試合を行い活動しています。チームの中で、約半分は野球未経験者であり、野球が好きな人や大学から新たなことにチャレンジしたい人が入部しています。また、マネージャーも高校までで野球部のマネージャー経験がない部員がほとんどです。人生に一度しかない大学生活なので、野球の試合もそうですが、秋興祭で模擬店をだしたり、ステージ発表に参加したり、合宿を行ったりするなどの活動も行っています。大学生活は、人生の夏休みといわれるほど、自分のしたい研究もできて、趣味に没頭したりすることが出来ます。野球の経験は薄く、勝つことは難しいチーム状況ではありますが、改めてチームで勝つことの大切さスポーツの楽しさを実感することが出来ます。



CLUBS &



カッドン

こんにちは。和太鼓サークル「カッドン」です。私たちは週に2回、火曜日と金曜日に講堂で活動しており、現在は8名のメンバーで和気あいあいと練習に励んでいます。

昨年は、本学の文化祭「秋興祭」にてパフォーマンスを披露させていただきました。普段の練習では、基礎の習得や曲の練習を中心に取り組んでいます。大学に入ってから和太鼓を始めたメンバーもあり、それぞれのレベルに合わせた練習メニューを組み、互いに切磋琢磨しながら成長しています。

「カッドン」は発足して8年目を迎えますが、現在は新しいメンバーの加入が課題となっています。文化系サークルではありますが、全身を使うため良い運動にもなり、ストレス発散にもぴったりです。初心者・経験者問わず、メンバーを大募集中です！一緒に和太鼓を叩いてみませんか？

見学・体験等いつでも大歓迎ですので、少しでも興味があればぜひ気軽に遊びに来てください！





バドミントンサークル

こんにちは。バドミントンサークルです。現在約50名の部員が所属しております。私たちのサークルは経験者だけでなく、未経験者もたくさんいます。練習内容も特に決まっておらず、好きな時間に好きなことをするために、どんな人でも楽しめるサークルになっています。バドミントンサークルは男女混合で学年も関係なく一緒に活動しているため、他学科や他学年の人と仲良くなることができ、サークルをきっかけにたくさんの友達や先輩、後輩ができます。

過去には大会の出場経験もあり、今でも人数が整えば大会には出られるため、本気でバドミントンをしたい方も大歓迎です！

サークル活動以外では新歓を開催したり、秋興祭にて出店したりと部員の仲を深めることのできるイベントもあります。

活動場所は福岡県立大学体育館で毎週月曜日と木曜日の18時から22時の間で活動しています。もし見学や体験をしたいなどあれば、いつでも大歓迎です！

CIRCLES



まちづくりサークル「たが輪」

こんにちは。まちづくりサークル「たが輪」です。本サークルは大学生が地域の人たちとつながりをもって地域活動、ボランティア、情報発信などを楽しく行いながら、田川と大学をよりよく・おもしろくすることを目的として2023年に設立されました。

現在は福岡県立大学と共に歩む会、川づくり交流会、田川市役所、JR九州、伊田商店街など様々な団体と企画や運営を行なっています。具体的に、今年度新たにつながりがもてた田川市役所との企画では、毎年5月に行われる「神幸祭」で伊田駅前にごみ箱を設置しまし

た。ポイ捨てが行われない、ごみ箱へゴミを捨てたくないようなものをデザイナーの池田さんとデザイン・作成しました。また、今年9月には初めて開催される「すいと〜よ福岡学生祭」があります。現在そこへ向けてたが輪と田川の魅力を伝えるために準備をすすめています。

ボランティアやまちづくりに興味がある方、田川の魅力を知りたい・広めたいと思う方は、ぜひ気軽に毎週火曜日18時から3207教室へ足を運んでみてください。いつでもお待ちしております。

教員研究紹介

人間社会学部・人間形成学科・心理コース

講師 小林亮太

専門分野:感情心理学・認知心理学



ゼミ風景

教育について

本学着任後は、認知心理学や心理学実験法、心理学統計法といった心理学研究の基礎に関わる科目を担当しています。教科書的な基礎知識を伝えていくことはもちろん、それを実践場面で利用、応用できるようになることを目指して講義内容を調整しています。前年度のコメントや課題への回答傾向を踏まえながら、講義内容や説明の仕方を工夫し、それが受講生の方の理解度に繋がることがやりがいになっています。

研究について

(研究テーマの紹介)

普段の生活の中で、私たちは些細なものから大きなものまでを含め、様々なネガティブな感情に直面します。そうしたネガティブな

感情を(必要なときに)どうしたら少しでも減らすことができるのだろうか。どうしたら心の平穏を保つことができるのだろうかということを考えています。また、感情や感情の調節には、身体が重要な役割を担っていると考え、身体感覚と感情や精神的健康の関係性についての研究にも取り組んでいます。



趣味の畑で取れた野菜

おすすめの
本

恐怖の哲学
戸田山和久



大学院生の頃に読んだ本で、感情研究の面白さにのめり込んだきっかけの1つです。恐怖という不快で本来なら避けたいはずの感情を、私たちはホラー映画をわざわざ見にいってでも感じようとし、何なら怖いと思うことに楽しみさえ見出している。これはどうしてなんだろうか?といった問いをはじめ、そもそも私たちの感情とは何なんだろうか?何を「感じて」いるのだろうか?といった根源的なところまで考察していく、とても好奇心が刺激される1冊です。タイトルに「哲学」とありますが、著者の戸田山先生が読みやすい筆致で書いてくださっているので、大学生にもおすすめです。

就職活動奮闘記



人間社会学部
人間形成学科
4年
R・Nさん

内定先：楽天カード株式会社

就職活動期間

就職活動を意識し始めたのは、3年生になってからでした。当時は、自分のやりたいことも定まっておらず、就職活動に苦戦していました。そのため、はじめに、「人の役に立つ仕事がしたい」という就職活動の軸を定めました。そこからは、職種に拘わらず、様々な企業の説明会に参加しました。その中でも、必ず一回は質問することを心がけていました。そのおかげで、企業様からお声がけいただき、会社見学に繋がったという経験もありました。

現在

社会人になることに対して、未知の世界に飛び込む不安もありますが、新しい環境で自分を試し、成長することへの楽しみや期待の

ほうが大きいです。新しい出会いや挑戦を通じて、自分がどのような人間になっていくのかワクワクしています。現在は、授業も少なく生活リズムが不規則になりがちなので、早寝・早起きを意識し、生活リズムをきちんと整えることを心掛けています。また、残りの学生生活では、資格取得や興味があるものに挑戦したり、友達との時間を大切にしたりして、自分にとって有意義な時間になるように過ごしたいと思います。

未来

私は、将来、「仲間を引っ張っていく存在」になりたいと思っています。今までは、人前に出て誰かを引っ張るといった経験をしたことがあまり無かったので、社会に出ることによって、自分を成長させ、仲間を導くことが出来る人間になりたいです。そのためにも、日頃から、チームワークを意識し、周りに目を配ること意識して、行っていきたいと思います。

自分にとって就職活動とは？

自分を見つめ直すことが出来る絶好のチャンスです！



人間社会学部
公共社会学科
4年
K・Oさん

内定先：
株式会社 ふくおかフィナンシャルグループ (FFG)

就職活動期間

私はとにかく企業に向き、現場で活躍されている方々に沢山の疑問を投げかけ、業界や職種についての理解を深めていきました。その中で、企業ごとの取り組みや今後の展開等を頭に入れ、自身の適性に合う「業界」「職種」を考え、自己分析と探求活動に明け暮れました。辛いことばかり考えても仕方なかったため、笑顔で春を迎えている自分をイメージし、新しい出逢いや対話を楽しみながら「企業」そして「自身」と向き合うことで、希望の進路を実現できました。

現在

就職活動が終わり、時間にも心にも余裕ができました。入社後は一日でも早く企業の戦力になりたい

いので、情報収集の習慣化や証券外務員資格の取得等に向けて、日々の努力を継続していこうと考えています。また、限られた学生生活の中で、卒業研究も友人との遊びも全力で楽しみたいと思います。

未来

現在「人生100年時代」を支える個人の資産形成が重要な課題であり、まさに日本において証券会社は成長産業となっております。「人」を支える役割を担っています。その中で、それぞれのお客様の「資産を増やしたい」の一步先の目標を明確化し、お客様のライフ・イベントを厚くサポートしていきたいと考えています。また、いち早くマーケットに精通することで自身の見解を大きく広げ、自身のサービスを武器に「顧客利益の追求」を実現していこうと思います。

自分にとって就職活動とは？

「最高の自分磨き」

令和6年度 卒業生の就職・進学実績

公共社会学科 [51]

- 民間企業・団体等 [40]
 - ・博多バスターミナル株式会社
 - ・イオン九州株式会社
 - ・九電不動産株式会社
 - ・宮崎交通株式会社
 - ・株式会社 JTB
 - ・株式会社 ソラシドエア
 - ・株式会社 大創産業
 - ・株式会社 フードウェイ
 - ・株式会社 星野リゾート
 - ・株式会社 U-NEXT HOLDINGS
 - ・株式会社 ウシジマ
 - ・株式会社 ウィルオブ・ワーク
 - ・株式会社 オーニシ
 - ・株式会社 キシヤ
 - ・株式会社 コーソル
 - ・株式会社 大安
 - ・株式会社 秀英予備校
 - ・株式会社 ミロク情報サービス
 - ・株式会社 モトマ
 - ・株式会社 コニバーサルコムコンピューターシステム
 - ・株式会社 ワールドシステムサービス
 - ・若田産業株式会社
 - ・山ソーラーコーポレーション株式会社
 - ・キャリアスタート株式会社
 - ・キール株式会社
 - ・中央出版ホールディングス株式会社
 - ・東京海上アシスタンス株式会社
 - ・東銀リース株式会社
 - ・フィールズ株式会社
 - ・リーラス株式会社
 - ・セキミキ・グループ株式会社
 - ・NEXUS 株式会社
 - ・One Flag 株式会社
 - ・日田信用金庫
 - ・エフコプ生活協同組合
 - ・一般財団法人西日本産業衛生会
 - ・学校法人垂細聖学園
 - ・学校法人福原学園
 - ・日本赤十字社 松江赤十字病院
 - ・医療法人湘美会
- 官公庁等 [6]
 - ・大牟田市 (事務)
 - ・志免町 (事務)
 - ・日田市 (事務)
 - ・日本年金機構 (事務)
 - ・独立行政法人国立高等専門学校機構
 - ・久留米工業高等専門学校 (事務)
 - ・福岡県警察
- 教員 [4]
 - ・福岡県立田川高等学校
 - ・北九州市立吉田中学校
 - ・行橋市立延永小学校
 - ・東峰村立小中一貫校東峰学園 (中学部)
- 大学院・専門学校等進学 [1]
 - ・北九州市立大学大学院

社会福祉学科 [48]

- 社会福祉施設等 [23]
 - ・社会福祉法人慈愛会 (支援員)
 - ・社会福祉法人福岡市社会福祉協議会 (CSW)
 - ・社会福祉法人福岡市社会福祉事業団 (児童指導員)
 - ・社会福祉法人福岡県母子福祉協会 (少年指導員)
 - ・社会福祉法人福岡市民生事業連盟 (介護職)
 - ・社会福祉法人北九州市手をつなぐ育成会 (生活支援員)
 - ・社会福祉法人大村子供の家 (児童指導員)
 - ・社会福祉法人 共生の里 (生活支援員)
 - ・社会福祉法人玄洋会 (支援員)
 - ・社会福祉法人高齢者介護予防協会かごしま (相談員)
 - ・社会福祉法人古処学園 (支援員・指導員)
 - ・社会福祉法人高松市社会福祉協議会 (総合職)
 - ・社会福祉法人東京都社会福祉事業団 (児童指導員)
 - ・社会福祉法人南高愛護会 (生活支援員)
 - ・社会福祉法人野の花学園 (支援員)
 - ・社会福祉法人久山町社会福祉協議会 (福祉活動専門員)
 - ・社会福祉法人三活会 (生活支援員)
 - ・認定特定非営利活動法人 OOS 子どもの村 JAPAN (相談支援員)
 - ・株式会社 明日葉 (児童指導員)
 - ・株式会社 クラ・セミ (児童指導員)
 - ・株式会社 トモサボ (生活支援員)
 - ・株式会社 LITALICO (支援員・指導員) [2]
 - 官公庁等 [11]
 - ・福岡市教育委員会 (SSW)
 - ・福岡県 (福祉職) [2]
 - ・北九州市 (福祉職)
 - ・飯塚市 (福祉職)
 - ・福岡県 (事務)
 - ・島原市 (事務)
 - ・三原市 (事務)
 - ・明日香村 (事務)
 - ・法務省 (法務教員)
 - ・独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 (障害者職業カウンセラー)
 - 病院・医療施設 [5]
 - ・医療法人共和会 小倉リハビリテーション病院 (MSW)
 - ・社会医療法人天陽会 中央病院 (MSW)
 - ・医療法人敬天会 東和病院 (MSW)
 - ・社会医療法人財団池友会 新行橋病院 (MSW)
 - ・医療法人祥風会 甘木病院 (PSW)
 - 民間企業・団体等 [8]
 - ・株式会社 SAT
 - ・株式会社 JWEGGATE
 - ・株式会社 バルグループホールディングス
 - ・株式会社 保険ひろば
 - ・株式会社 P-UP World
 - ・株式会社 ワット・コンサルティング
 - ・セントケアりまいん株式会社
 - ・福岡酸素株式会社
 - 大学院・専門学校等進学 [1]
 - ・福岡県立大学大学院
- ※CSW: コミュニティソーシャルワーカー
SSW: スクールソーシャルワーカー
MSW: 医療ソーシャルワーカー
PSW: 精神保健福祉士

人間形成学科 [47]

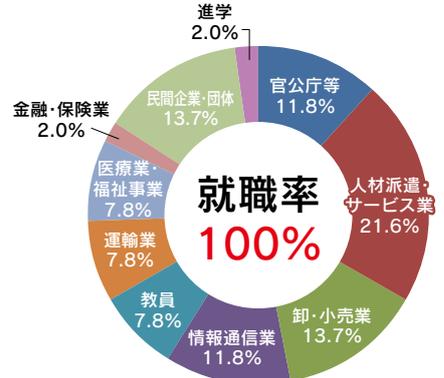
- 幼稚園・保育所 (公立) [3]
 - ・福岡市
 - ・粕屋町
 - ・上毛町
- 幼稚園・保育所 [1]
 - ・正光寺ひかり幼稚園
- 民間企業・団体等 [18]
 - ・株式会社 atelier-info
 - ・株式会社 ウィンクス
 - ・株式会社 エスユーエス
 - ・株式会社 キシヤ
 - ・株式会社 スタッフサービス
 - ・株式会社 ソフ
 - ・株式会社 日本ケイテム
 - ・株式会社 ネクステップ・ソリューションズ
 - ・株式会社 ベイクルーズ
 - ・英進館株式会社
 - ・損害保険ジャパン株式会社
 - ・日清医療食品株式会社
 - ・日本コンピュータ株式会社
 - ・フェニックスリゾート株式会社
 - ・プリモ・ジャパン株式会社
 - ・三菱電機冷熱機器販売株式会社
 - ・チャンネル合同会社
 - ・岡崎信用金庫
- 社会福祉施設等 [7]
 - ・NPO 法人光楽園 (保育士)
 - ・社会福祉法人鹿児島市社会事業協会 (保育士)
 - ・社会福祉法人久護福祉会 大冠保育園 (保育士)
 - ・社会福祉法人 員祐会 認定こども園 リアックしほら保育園 (保育教諭)
 - ・社会福祉法人しらゆり福祉会 しらゆり新城保育園 (保育士)
 - ・株式会社 JF
 - ・株式会社 LITALICO
- 官公庁等 [4]
 - ・大分県 (心理職)
 - ・高知県 (事務)
 - ・飯塚市 (事務)
 - ・南さつ市 (事務)
- 教員 [1]
 - ・福岡県立香住丘高等学校
- 大学院・専門学校等進学 [13]
 - ・福岡県立大学大学院 [5]
 - ・九州大学大学院 [2]
 - ・鳴門教育大学大学院 [2]
 - ・兵庫教育大学大学院
 - ・別府大学大学院
 - ・比治山大学大学院
 - ・北九州医療製菓専門学校

看護学科 [92]

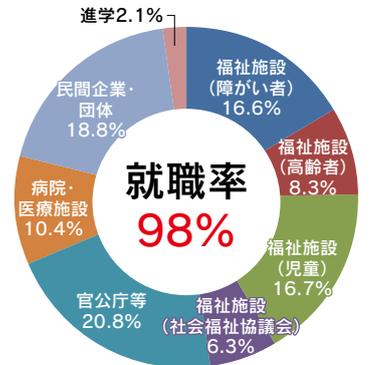
- 病院・医療施設 [65]
 - ・国家公務員共済組合連合会 浜の町病院 [11]
 - ・社会福祉法人恩賜財団済生会支部 福岡県済生会八幡総合病院 [5]
 - ・産業医科大学病院・産業医科大学若松病院 [4]
 - ・公立学校共済組合九州中央病院 [4]
 - ・社会福祉法人恩賜財団済生会 福岡県済生会福岡総合病院 [3]
 - ・公益社団法人福岡医師会連 千鳥橋病院 [3]
 - ・九州大学病院 [2]
 - ・愛媛県立中央病院 [2]
 - ・久留米大学病院
 - ・独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター
 - ・独立行政法人地域医療機能推進機構 九州病院
 - ・独立行政法人労働者健康安全機構 九州労災病院
 - ・独立行政法人労働者健康安全機構 総合せき損センター
 - ・地方独立行政法人福岡市立病院機構 福岡市立こども病院
 - ・地方独立行政法人大牟田市立病院
 - ・社会医療法人豊の聖母会 聖マリア病院
 - ・一般財団法人平成栄川会 小倉記念病院
 - ・日本赤十字社 福岡赤十字病院
 - ・株式会社 麻生 飯塚病院
 - ・熊本大学病院
 - ・長崎大学病院
 - ・独立行政法人国立病院機構 肥前精神医療センター
 - ・社会医療法人寿豊会 熊本機能病院
 - ・長崎県病院企業団 長崎県対馬病院
 - ・東京科学大学病院
 - ・千葉大学医学部附属病院
 - ・昭和医科大学 横浜市北部病院
 - ・北里大学病院
 - ・順天堂大学医学部附属浦安病院
 - ・兵庫県立西宮病院
 - ・兵庫県立丹波医療センター
 - ・独立行政法人国立病院機構 東京医療センター
 - ・地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター
 - ・社会福祉法人恩賜財団済生会支部 兵庫県病院
 - ・社会福祉法人恩賜財団済生会支部 大阪府済生会中津病院
 - ・公益社団法人地域医療振興協会 東京北医療センター
 - ・日本赤十字社 日本赤十字社医療センター
 - ・日本赤十字社 成田赤十字病院
 - ・日本赤十字社 神戸赤十字病院
- 官公庁 (保健師) [11]
 - ・大野城市 [2]
 - ・宮崎市 [2]
 - ・福岡市
 - ・北九州市
 - ・久留米市
 - ・志免町
 - ・大分市
 - ・宇佐市
 - ・東京都杉並区
- 教員 (養護教諭等) [6]
 - ・福岡県立東筑高等学校
 - ・福岡市立和白中学校
 - ・福岡市立美和台小学校
 - ・筑津市立福岡中学校
 - ・筑後市立三川小学校
 - ・八女市立筑南小学校
- 大学院・専門学校等 [10]
 - ・福岡県立大学大学院 [5]
 - ・長崎県立大学大学院
 - ・香川県立保健医療大学大学院
 - ・九州看護福祉大学
 - ・県立広島大学
 - ・遠賀中央看護助産学校

令和6年度 卒業生の進路状況

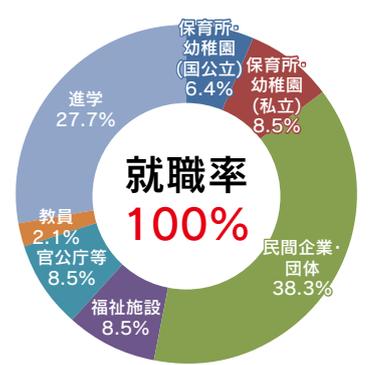
公共社会学科



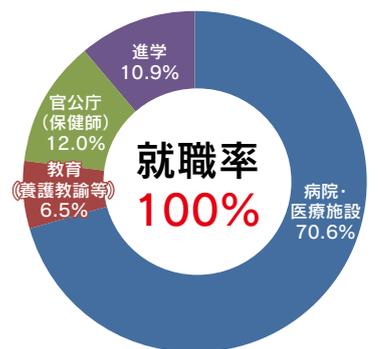
社会福祉学科



人間形成学科



看護学科



新任教員のご紹介

【R7.4.1 付】



田尾 真一

学部学科

人間社会学部公共社会学科 准教授

専門分野

財政学、地方財政論



八田 信人

学部学科

人間社会学部人間形成学科 特任教授

専門分野

特別支援教育



野田 優子

学部学科

看護学部看護学科 講師

専門分野

小児看護学



深津 紘一 【R7.7.1 付】

看護実践教育センター 助手

専門分野

認知症分野

福岡県立大学基金 ご寄附のお願い

福岡県立大学では、学生生活、教育研究等の充実を図り、福祉社会に貢献できる人材を育成することを目的に基金を設置しています。寄附金は、学生生活、国際交流、教育研究活動等の事業の実施に活用されますが、用途を指定することもできます。

皆様方からの格別のご協力とご支援を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

■ご寄附のお申込み方法

「福岡県立大学」のホームページに詳細をご案内しておりますのでご確認くださいか、下記の連絡先にお問い合わせ願います。

■連絡先

経営管理部総務財務班 TEL 0947-42-2118



公立大学法人 福岡県立大学

学部・学科

人間社会学部

・公共社会学科
・社会福祉学科
・人間形成学科

看護学部

・看護学科

大学院

人間社会学研究科
看護学研究科

 Fukuoka Prefectural University

Kendai Magazine

2025
No.37

- 発行 福岡県立大学
- 所在地 福岡県田川市伊田4395
- 電話 0947-42-2118
- 編集 学務部 教務入試班

<https://www.fukuoka-pu.ac.jp/>



ホームページ



Instagram